

「ハコダテ映画を語る会」

主催:HVC(函館・ベンチャー・シネマ)鈴木ゼミ

趣旨

いままで函館で撮られてきた映画は沢山ありますが、実際、函館が映画の町だと思っている方々は多くはないと思います。これだけ沢山の映画が撮られてきている理由は、美しい自然景観、歴史的な建造物や街並みなどの、十分すぎるほどのロケ地、すなわち地域資源であることは明らかです。これから私たちに必要なことは、映画制作や映画鑑賞を通して、地域の魅力を再発見し、地域の皆さんと地域住民の意識改革であると考えます。そこで、HVC は函館映像文化というものを地域住民の方々に再認識してもらうために活動してゆこうと思っております。

直近の予定

11月6日(木) 18:30~22:00 「ハコダテ映画を語る会」・場所(モーリエ)

作品上映 : 「re-play」18:30 ~ 18:45

監督 : 玉野 智章 主演 : 野口 佳子

玉野智章(未来大4年)が指揮を取り、函館を舞台に撮影されたショートムービーです。
(ストーリー) 高校時代から付き合っていた彼と大学進学のため離れ離れになる。そのことにより、彼との仲が気まずくなる。そして3年の月日が過ぎ、友達を介して渡された彼のMDをきっかけに、主人公は函館に帰ることを決心する……。

第二部「ハコダテ映画を語る会」趣旨説明 18:45 ~ 19:00

作品上映 「星に願いを。」解説 星野裕(Bit&Ink 代表) 19:00 ~ 20:00

監督 : 富樫 森 主演 : 竹内結子、吉沢悠

カフェ・モーリエ、遺愛高校、緑の島など函館の各所がロケ地として登場。
(ストーリー) 北海道・函館。3年前の交通事故により、失明し、声も失ってしまった青年・笙吾(吉沢 悠)。事故直後、心を完全に閉ざしてしまった彼に立ち直るきっかけを与えたのは、担当の看護師・奏(竹内結子)だった。彼女の献身的な看護と時に厳しいリハビリは笙吾に再び生きる勇気を取り戻させた。そんなふたりは時がたつにつれ、言葉を超えて心が通じ合う特別な存在になっていた。しかし、幸せの時間はあまりにもはかなく短かった…。笙吾は車にはねられ、奏の目の前で息絶えてしまったのだ……。

食事と意見交換 20:00 ~ 22:00

終了

会費 (モーリエでの食事料金込み)

学生 1000円 一般 2000円

今後の予定

12月3日(水)

「ハコダテ映画を語る会」第2回

講師:市内の映画通(交渉中)・場所(モーリエ)